

<以下、仮訳であり、ご使用にあたっては、原文をご確認ください>

<<中国に於けるハイドロクロロフルオロカーボンの代替品推奨リスト (意見募集稿)>>の編集説明

【1】編集背景

オゾン層破壊物質に対する段階的廃止及び管理の履行責任に関する、<<オゾン層保護のウィーン条約>>及び<<オゾン層破壊物質に関するモントリオール議定書>>（以下、議定書と略称す）を、確実に履行する為に、我国は1999年に<<オゾン層破壊物質の段階的廃止に関する中国国家計画>>（以下<<国家計画>>と略称す）を発表した。それは我国のオゾン層破壊物質の段階的廃止と管理作業の基礎と根拠を提供するものです。

<<国家計画>>の要件に従い、我国は2004年、2007年に其々<<オゾン層破壊物質の代替品推奨目録（第1版）>>及びその改訂草案を公布し、オゾン層破壊物質の代替品として、パークロロフルオロカーボン、ハロン、四塩化炭素、メチルクロロホルムの4種類を推奨し、2010年までの上記オゾン層破壊物質の削減する上で重要な役割を果たした。

現在、我国は<<議定書>>の要件に従ってハイドロクロロフルオロカーボン（HCFCs）の段階的廃止を実施している。第19回議定書締約国会議の決議に基づき、我国は2013年のHCFCsの生産と消費をベースラインとして凍結し、2015年、2020年、2025年、及び2030年迄に、ベースラインレベルを其々10%、35%、67.5%、97.5%削減し、最終的にはベースラインレベルの2.5%を維持しなければならない。

2011年以降、全体的なHCFCsの段階的廃止戦略及び各業界削減計画を制定及び実施してきて、2013年基準で、2015年、2020年に10%と35%削減目標を達成した。しかし、HCFCsの推奨代替品名録は未だ発行されておらず、HCFCsの廃止作業が困難な段階に入るに従って、各業界、各地域が、業界と国による目標の継続的履行を確保する為に、代替品に関する指導意見を緊急に必要としている。

現在、HCFCsの代替品は主に2種類ある。(1) 1つ目は、地球温暖化係数（GWP）の高いハイドロフルオロカーボン（HFCs）であり、先進国で長年広く使用されており、中国でも大規模な工業化が進んでいる。(2) 2つ目は、低GWP値の代替品であり、天然工業物質、含フッ素オレフィン（HFO）等の物質である。

・・・以下省略・・・

【2】編集根拠

(1) 国際公約

第19回議定書締約国会議の第6号決定：「地球温暖化係数、エネルギー使用、及び其の他の各種関連要因を考慮して、気候等の環境に対する影響が最も少ない代用品及び代替品を使用する。」

(2) 国内法規

2010年、国务院は、我国におけるオゾン層破壊物質の段階的廃止と管理作業に法的根拠を提

供する為に、<<オゾン層破壊物質管理条例>>（以下、<<条例>>と略称す）を公布した。<<条例>>の第1章第8条で、次のように規定している：「国务院の環境保護主管部門は、国务院の関連部門と協力して、<<中国に於けるオゾン層破壊物質代替品推奨名録>>を調整、交付する。」

【3】編集手順

(1) 各業界での HCFCs 代替検討状況

各種業界団体や専門家と協力して、各業界で実施している HCFCs の段階的廃止過程での代替品の応用状況を整理して、各業界、各類の代替品の適用過程に於けるリスク要因と制限要因を注意深く分析し、更に、代替品の選択と適用に於いて考慮すべき要素、及び適用中に於ける各種リスクと制限要因の解決策について、関連企業の深い理解を得た。

(2) <<名録>>編集原則の研究、制定

第一に、HCFC の段階的廃止期間は長く、代替技術は継続的に進展する為、我々は<<名録>>を継続して更新、調整する。

第二に、<<名録>>は、業界が承認したもので、且つ国内で成功事例或いは実証プロジェクトで確認された代替及び代替技術を推奨する。

第三に、プロトコルは、HCFCs の段階的廃止プロセスに於いて、低 GWP 値の代替物に注目し且つ促進し、低 GWP 代替物の革新と使用拡大を奨励する。将来的には、高 GWP 値の代替技術も段階的に廃止されるため、<<名録>>では HCFCs 代替品の気候に対する利点を十分に考慮し、高 GWP 値（750 以上）の代替品は推奨しない。

(3) <<名録>>編集に於ける各種意見の収集

<<名録>>編集の原則に従い、代替品に関する予備調査と、推奨代替品に対する業界団体、科学研究機関、大学、企業及び業界専門家の意見や提案のフィードバックを組み合わせ、総合的に<<名録>>を検討、編集する。討論会を開催し、各方面の関係者と意見交換を行い、意見・提案に従って<<名録>>の改訂・改善を行う。

【4】<<名録>>の主な内容

<<名録>>は、主に次の2つの側面を含む：

(1) 代替品の用途類型及び主要適用分野を明確にする

各業界に於ける HCFCs の現在の適用状況に基づき、代替品の成熟度、入手可能性、代替効果等の要因を総合的に考慮し、<<名録>>では、モノクロロジフルオロメタン(HCFC-22)、1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(HCFC-141b)、1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)の3種類の国内で製造及び使用されている主要な HCFCs 代替品として24の代替品を推奨している。其の内、冷媒代替品が9ヶ、発泡剤代替品が6ヶ、洗浄剤代替品が9ヶ(類)あり、ルームエアコン及び家庭用ヒートポンプ給湯器、工業・商業用冷凍機、発泡材、クリーニング等の産業が含まれる。<<名録>>はまた、代替品の主な応用分野を提供し、関連産業と企業による代替品の研究開発と使用に対しての指導を提供する。

(2) 代替品は、ODP 値がゼロで、GWP 値が低い属性を持つことを強調する

<<名録>>には、代替品のオゾン層破壊係数（ODP）及び温暖化係数（GWP）を明示してあり、全ての代替品の ODP 値は 0 であり、且つ大部分の GWP 値は 20 未満である。オゾン層を保護すると同時に、グリーンで低炭素な代替技術の促進に注意を払っている。GWP 値が 20 を超える代替品は 4 ケのみであり、例示すると；GWP 値が 675 の冷媒剤ジフルオロメタン（HFC-32）、GWP 値が 287 の冷媒剤 R515B、GWP 値が 631 の冷媒剤 R513A、GWP 値が 243 の洗浄剤 1,1,2,2,3,3,4-ヘプタフルオロシクロペンタン（HFE-447）、である。

<<名録>>中には、洗浄剤の代替品として、炭化水素溶剤、塩素系炭化水素溶剤、アルコール性シリコンオイル及び無溶剤シリコンオイル、グリコールエーテル溶剤の 4 種類がある。これら 4 種類の代替品には多種多様な物質が含まれ、関連物質は全て ODP 値 0 及び GWP 値 20 以下の要件を満たしていることを考慮して、これら 4 種類の物質は代替物質の特定名称を付けずに列挙してあります。

以上